

おおきくなあれ

によき、によき、によき。
いちばん上の園庭の真ん中に何かが3本あらわれました。
『すてきな三にんぐみ?』
ではありません。
なんと、ムクノキなのです。
和歌山の奥深い山ふところから
親しい造園屋さんが運んできてくれました。
ちっちゃなショベルカーもやってきて
3つの穴を掘り、栄養いっぱいの土で包んでくれました。
外遊びをしていた子どもたちは目を丸くして作業を見ていました。

この木曜日には年長さんも参加して植樹祭を行いました。
贈ってくれた平和堂さんやモデルフォレスト協会さんらをお招きし
感謝をこめて「ありがとうの花」を歌いました。
「おおきくなあれ」と願いを込めて
みんなで、ふかふかの土をスコップでかけました。

今はまだ3メートルほどのやせっぽち。
でも、毎年すこしずつ大きくなって
やがて天高く、園庭せましと枝をはり
木陰には空の鳥たちも羽を休めに集うでしょう。
おいしい木の実もできるそうです。
そのとき今の年長さんは見違えるほど大きくなっていることでしょう。

つくし保育園が生まれて、来年で半世紀。
次の半世紀に向けて、子どもと大人が笑顔でつどい
自然と触れ合い、豊かに育ちあう「つくしの森」をつくりたい。
その夢がいま、産声をあげました。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<礼拝のご案内>

日曜日はお庭のチャペルでご家族一緒に礼拝を楽しみましょう!
まいしゅう日曜日午前10:30~ だいが教会
はじめての方も心より歓迎します。